

[取扱説明書]

通信機能付き通過時間計

MODEL : TM - 751

シリーズ名	出力オプション			入力	オプション機能
TM-751	-□□	-□□	-□□	-□□	
	P2				上/下限警報出力
	AV				アナログ出力 (電圧選択可能) 0~5.0~10V・1~5V・0~1V
	AI				アナログ電流出力 (4~20mA)
			B		BCD出力
			RS2		RS-232C
			RS4		RS-485
			BI		BCD入力
			RE		90°位相差入力
			無記		パルス入力 (オープンコレクタ入力専用)
			F		パルス入力 (電圧パルス入力専用)
			A2		アナログ4~20mA入力と オープンコレクタパルス入力
			A3		アナログ1~5V入力と オープンコレクタパルス入力
			A4		アナログ0~5V入力と オープンコレクタパルス入力
			A5		アナログ0~10V入力と オープンコレクタパルス入力
			V		タコゼネ入力
			N		正弦波入力

入力

このたびは、弊社商品をお買い上げ頂きありがとうございます。御使用頂く前にこの説明書を御一読され、正しくお使い頂く様お願い申し上げます。

ユーアイニクス株式会社

〒593-8311 大阪府堺市上123-1
TEL: 0722-74-6001
FAX: 0722-74-6005

改訂	日付
第1版	'98. 2. 2

0TM-751(1)

目次

〈標準〉

□ 仕様	1
□ 取付方法	2
□ 接続する前の注意事項	2
□ フロント部の各名称とその機能	3~4
□ モード設定とリレー出力設定のキー操作方法	5~6
□ 端子台の接続方法	7
□ センサー別接続図	8
□ 入出力回路の構成	9
□ モードNoと初期設定値	10
□ 設定メニュー	11
□ 用語説明	12
□ モードNoの設定値の説明	(13~16)
「モードNo.0」 計測モード, 表示モード, 小数点	13
「モードNo.1」 換算器	13
「モードNo.2」 EXP値	13
「モードNo.3」 炉長(タクトピッチ)	14
「モードNo.4」 サンプル時間(通過時間計, 速度計測)	14
「モードNo.5」 速度単位, 小数点, オートゼロ	14
「モードNo.6」 アナログ出力方式	15
「モードNo.7」 アナログMAX出力時の表示値	15
「モードNo.8」 リレー出力方式	15
「モードNo.9」 オプション機能: BCD出力	16
オプション機能: RS-232C	16
□ 計測タイムチャート	(17~20)
1. 通過時間モード	17
2. 速度時間モード	18
3. サイクルタイマーモード	19
4. ストップウォッチモード	20
□ 外形寸法図	21

〈オプション〉

■ 付属コネクタ(CN-173)	BI-1
■ オプション入力スイッチ(CN-195)	BI-2
■ RS-232C仕様	RS2-1~RS2-2

仕様

①標準仕様

項目	仕様
表示範囲 (表示単位)	下記5種類(モード設定にて選択) 000時 00分 ~ 999時 59分 000分 00秒 ~ 999分 59秒 0 ~ 9999.9時 0 ~ 9999.9分 小数点位置は任意 0 ~ 9999.9秒
表示精度	±1mS ±1digit
表示器	5桁赤色7セグメントLED(文字高10mm)
小数点設定	モード設定により任意設定可
スケーリング	前面からのキー入力方式
リセット	前面押しボタンと端子台
入力信号	オープンコレクタ又は電圧パルス
入力周波数	High: 0~10KHz(但し duty 50%) Low: 0~50Hz(但し duty 50%)
センサー供給電源	DC12V 100mA(安定化)
使用温湿度範囲	0~50℃ 30~80%RH(但し結露なき事)
電源電圧	AC85V~264V 50/60Hz
消費電力	約12VA
重量・外形	約750g W96×H48×D145mm

②オプション出力(P2タイプ)

リレー出力	2段出力 上限/上限 警報2段出力
出力表示	リレー出力中はOUT1, 2緑色LEDランプ点灯
リレー容量	AC250(DC30V) 0.2A 1a接点
出力リセット	前面リセットボタン/後部端子台入力(信号幅50mS以上)

③オプション出力(AI-AVタイプ)

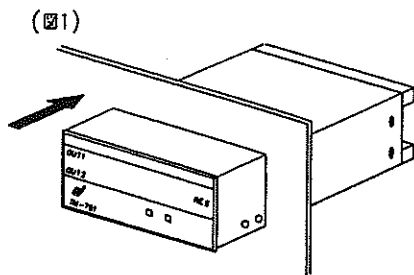
アナログ電流出力(AIタイプ)	DC4~20mA 負荷抵抗500Ω以下
電圧出力(AVタイプ)	0~5V, 1~5V, 0~10V, 0~1V
出力精度	負荷抵抗 1KΩ以上 表示値に対し±0.3%(F.S) 20℃時

④BCDコード出力(オプション)仕様

出力形式	オープンコレクタ出力
出力動作	出力"H"レベル時Pin1(0V)と短絡
定格	DC30V 20mA(MAX)
信号方式	パラレル正又は負論理, T1信号付き

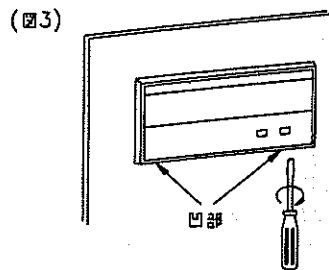
② 取付方法

手順①



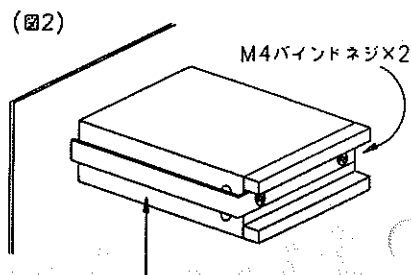
パネルカットして前面から挿入します。
(W92±0.8×H45±0.5)

フロントパネルのはずし方、取付け方

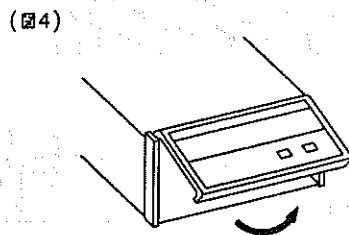


盤に取り付けている時は、下部に2ヶ所凹部がありますので、10円玉か又は、マイナーストライパーでこじてからはずして下さい。

手順②



背面より取付金具でしっかりおさえて、ワッシャとM4バインドネジで、締め付けて下さい。



また盤に取り付けていない時は、図4の様に手で下側を持ち上げる様にすれば、簡単にはずせます。尚、フロントパネルをはめる時は、上側のツメを先にひっかけて下側を押せばパチンとおさまります。

③ 接続する前の注意事項

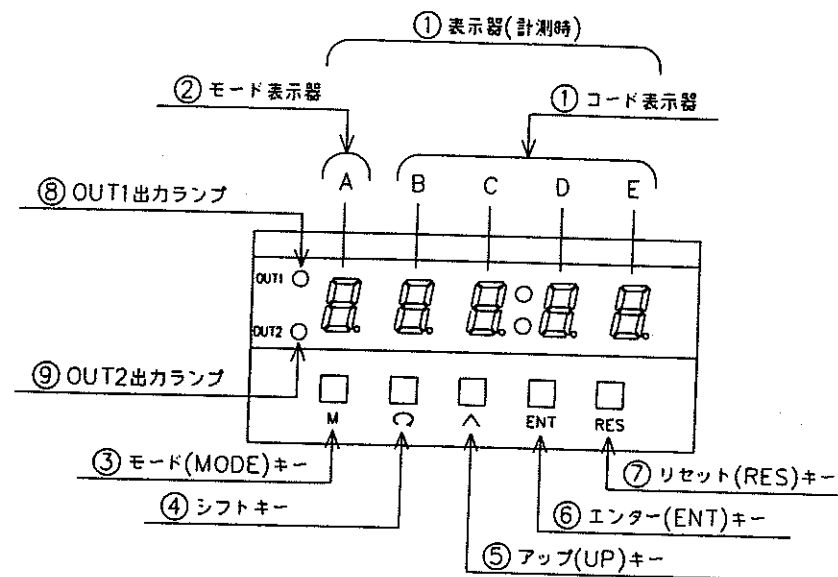
● AC電源入力

入力電源の端子接続(12, 13)を間違えないで下さい。間違えますと本体内部のヒューズが切れたり、トランス・IC等が破損しますので御注意下さい。
周波数50/60Hzは共用となっています。

● センサー接続

DC12V MAX 80mAの電源をセンサー(近接スイッチ・光電スイッチ・流量センサー等)に供給出来ます。但し、オーバー負荷にならない様にして下さい。

④ フロント部の各名称とその機能



(図5)

■ 表示及びキーの機能

①表示器(A~E)

計測時(モード表示器ブランク時)は測定値を表示します。又、モード設定時はAがモード表示器として、B~Eはコード表示器として換算値など設定値を表示します。

②モード表示器(A)

モード設定時に、このAの1桁がモードNo表示になります。

③ **M** キー(モードキー)

モード設定時に、このキーを押すとモード表示器が(0→1→2...8→9→0)と切り換わります。尚、モードNoを呼び出す時は **M** キーと **⇐** キーを2秒間同時に押します。又、上下限リレー出力設定を呼び出す時は **M** キーを2秒間押します。

④ **⇐** キー(シフトキー)

フラッシングの表示の位置を上桁から下桁に移動させます。

⑤ **▲** キー(アップキー)

フラッシングしている表示を変更させたい時、このキーを押すと数字がアップします。(0→1→2...9→0)

⑥ **ENT** キー (エンターキー)

希望の設定が終了したらこのキーを押します。これで設定値がメモリーされ、同時に計測モードに移ります。設定した後、このキーを押さなければメモリーされたことにならないので注意して下さい。又、計測時は通過/速度を選択中の切り換えキーになります。

⑦ **RES** キー (リセットキー)

モード設定中に、このキーを押すと計測モードに戻ります。計測時このキーを押すとリレー解除として動きます。又、時間計のデータ解除も、このキーを押します。(尚、後面端子台にも同じ様にRES端子が出ています。)

⑧ **OUT 1** 出力のランプ





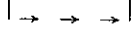
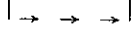

上限値を越えた時にリレー出力すると同時にこのランプが点灯します。

⑨ **OUT 2** 出力のランプ

下限値を越えた時にリレー出力すると同時にこのランプが点灯します。

5 モード設定とリレー出力設定のキー操作方法

各モードを設定する時は、下図の通り各キーの操作を行って下さい。

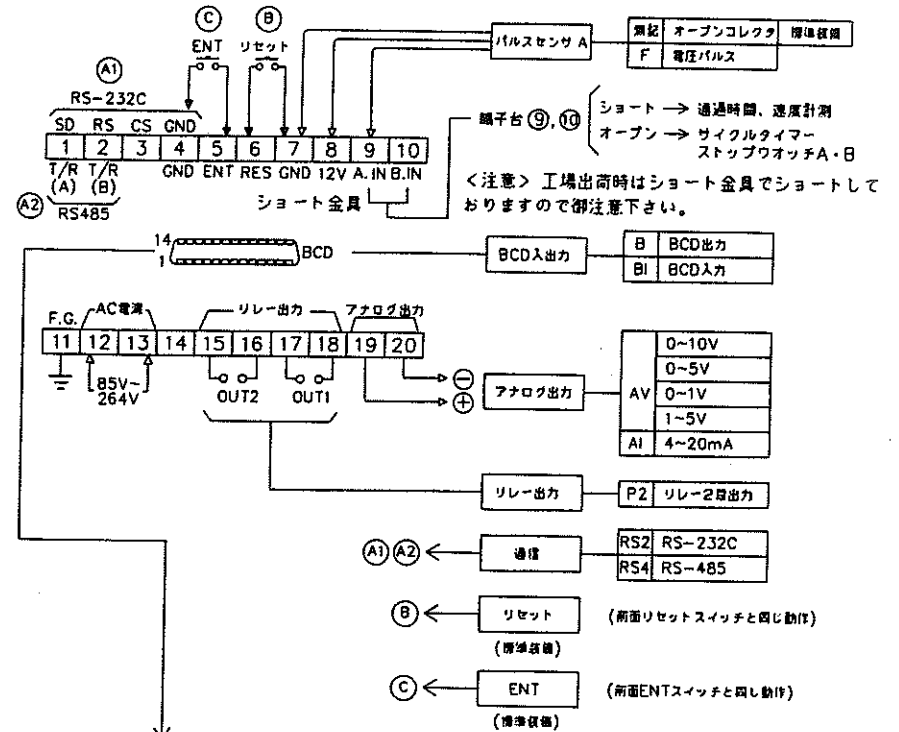
操作キー	表示部	操作手順
M + 	A B C D E 0. 0	M キーと  キー2秒以上同時に押します。これでモード "0" を呼び出したこととなります。
	0. 0 0~9 ↑	フラッシングしている数値を変える時はこのキーを押します。
M	1. 1 0 0 0	M キーを押すと、モード "1" となります。
	 1. 1 0 0 0	フラッシングの位置を変える時はこのキーを押します。上記と同様に  キーと  キーで、希望の設定値を入力します。この方法でモード9まで設定して下さい。
ENT	1. 0 0 0 0	モード "9" まで設定を終了したら ENT キーを押します。これにより、今までの設定値がメモリーされて同時に計測モードに戻ります。又、例えば、モード "05" を変更したい場合はその変更されたデータがメモリーされて計測モードに戻ります。
RES		モード設定中に RES キーを押しても計測モードに戻りますが、設定したデータはメモリーされませんので注意して下さい。

初期化 初期書き込み (初期パラメータ設定) についてはP10を参照して下さい。

■ 上限値 (OUT1) 及び下限値 (OUT2) のリレー出力の設定と出力解除の方法

操作キー	表示部	操作手順
[M]	A B C D E 9 9 9 9 9	[M] キーのみ2秒以上押しますと上限出力ランプが点滅し、上限出力値 (OUT1) 設定モードになります。
[⇐] ⇒ [^]	(例) 0 1 2 3 4	[⇐] キーと [^] キーで上限値を入力します。
[M]	0 0 0 0 0	[M] キーを押しますと、下限出力値 (OUT2) 設定モードになります。
[⇐] ⇒ [^]	(例) 0 0 1 2 3	上記と同様に [⇐] キーと [^] キーで、下限値を入力します。
[ENT]		設定が終了したら [ENT] キーを押しますと、上下限値がメモリーされ計測モードに戻ります。
[RES]		リレー-OUT1, 2出力の解除と時間計解除を行います。

⑥ 端子台の接続方法



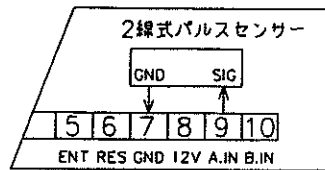
BCD 入出力端子 (DDK: DHA-RA26)			DHA-PC26 ケーブル結線表				
ピンNo.	色別	ピンNo.	色別	ピンNo.	色別	ピンNo.	色別
1	GND	14	1000A	1	ア オ	14	ミドリ(シロ1)
2	1A	15	1000B	2	ダイ	15	チ+ (シロ1)
3	1B	16	1000C	3	ミドリ	16	ネス(シロ1)
4	1C	17	1000D	4	チ+	17	アオ(シロ1)
5	1D	18	10000A	5	ネ ス	18	クロ(シロ1)
6	10A	19	10000B	6	ア カ	19	キ(クロ1)
7	10B	20	10000C	7	クロ	20	モモ(クロ1)
8	10C	21	10000D	8	キ	21	ムラ(シロ1)
9	10D	22	DP1	9	モ モ	22	シロ(アオ1)
10	100A	23	DP2	10	ムラサキ	23	アオ(アオ2)
11	100B	24	DP3	11	シロ	24	ダイ(シロ2)
12	100C	25	TI	12	アオ(アオ1)	25	ミドリ(シロ2)
13	100D	26		13	ダイ(シロ1)	26	チ+(シロ2)

(注1) R.E.(ロープリーエンコーダ), RS-232C およびRS-485はBCD入出力をつけることができません。

7 センサー別接続図

A. 2線式パルス出力センサー

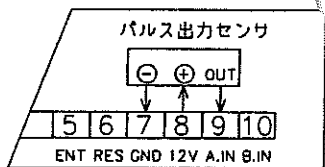
センサー規格
 (吸い込み電流 20mA以上)
 (OFF時、漏れ電流 1.5mA以下)
 (ON時、残留電圧 3.5V以下)



B. 3線式パルス出力センサー

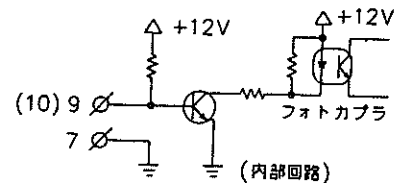
センサー規格 (上記と同じ)

- オープンコレクタ出力(標準タイプ)
- 電圧パルス出力(Fタイプ)

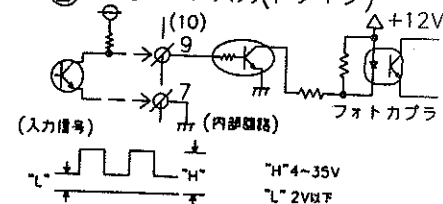


8 入出力回路の構成

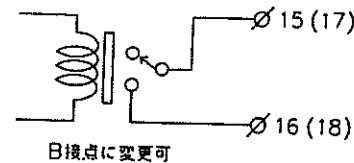
① オープンコレクタパルス入力



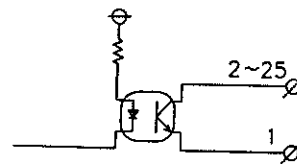
② 電圧パルス入力(Fタイプ)



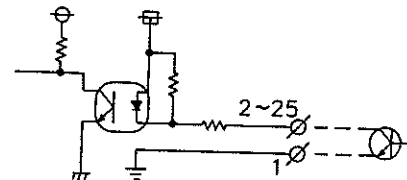
③ リレー出力(A接点)



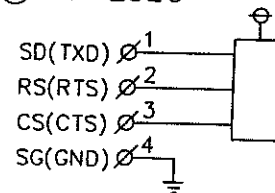
④ BCD出力



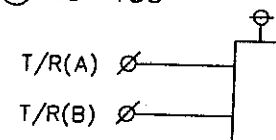
⑤ BCD入力



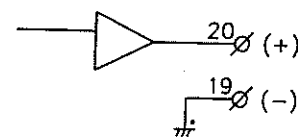
⑥ RS-232C



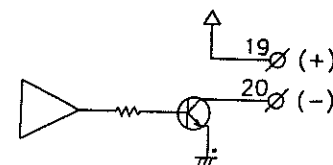
⑦ RS-485



⑧ アナログ電圧出力(AV)



⑨ アナログ電流出力(AI)



9) モードNoと初期設定値

A: モード設定方法

電源を入れ **M** キーと **0** キーを2秒以上同時に押しますと(最初だけ)モード“0”になり、その後は **M** キーを押す毎に 1 → 2 → ... → 9 → 0 → ... と変わります。
このモードNo表示は表示器Aに示され、その時表示器(B~E)にもいろいろな設定値が表われます。

B: 計測モードに戻す方法

注意 このモード設定から抜け出して通常の計測モードに戻す時は **ENT** キーを押して下さい。

C: 上/下限リレー出力の設定の方法

又 **M** キーのみ2秒以上押しますと(最初だけ)OUT1出力表示ランプが点滅し次に **M** キーを押すとOUT2出力表示ランプが点滅し、次にその後は **M** キーを押すごとにOUT1/OUT2のランプが交互に点滅し、その設定ができます。

注意 計測モードに戻す時は **ENT** キーを押して下さい。

(表1)

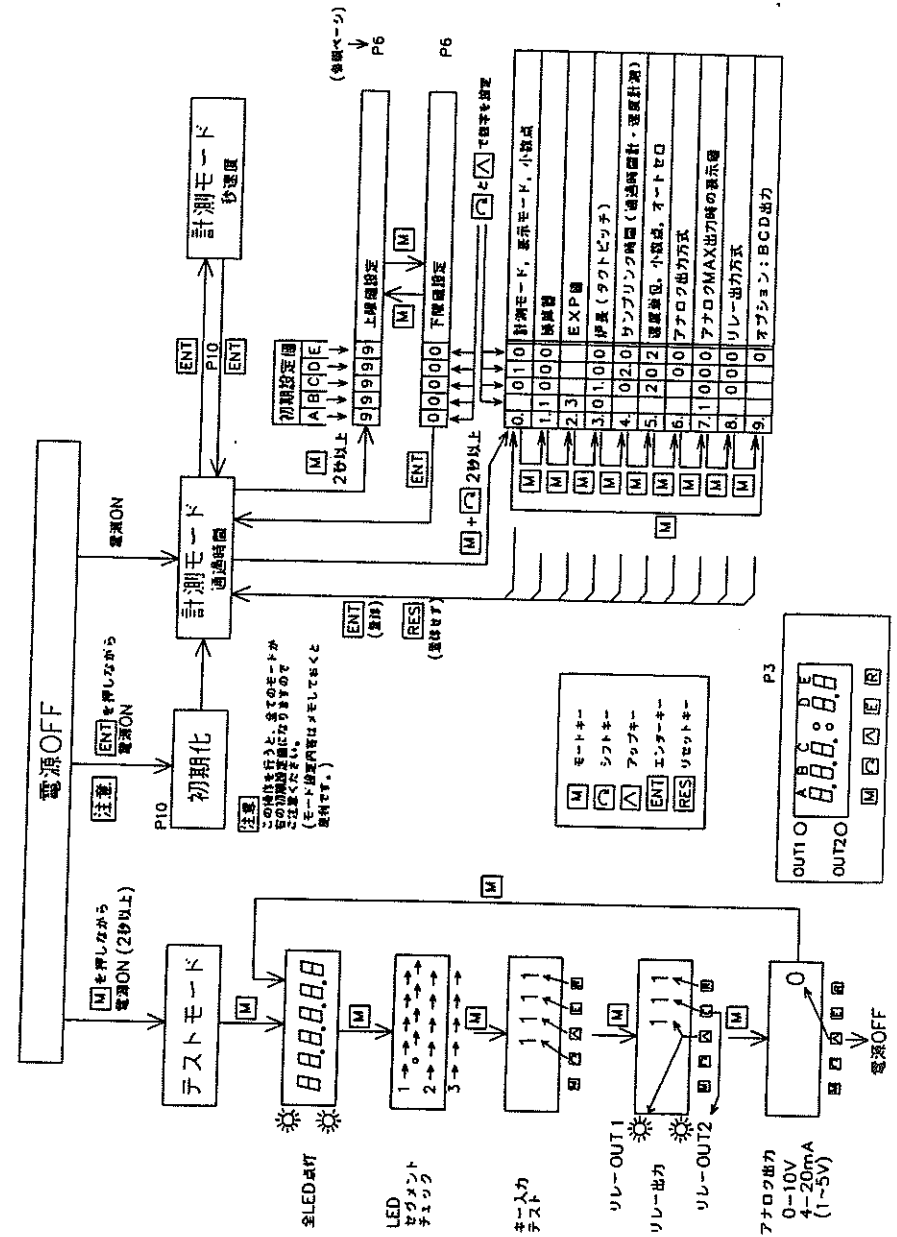
モードNo	① 初期設定値					② 設定メモ欄				
	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
0	0.	-	0	1	0	0.	-	-	-	-
1	1.	1.	0	0	0	1.	-	-	-	-
2	2.	3	-	-	-	2.	-	-	-	-
3	3.	0	1.	0	0	3.	-	-	-	-
4	4.	-	0	2.	0	4.	-	-	-	-
5	5.	-	2	0	2	5.	-	-	-	-
6	6.	-	-	0	0	6.	-	-	-	-
7	7.	1	0	0	0	7.	-	-	-	-
8	8.	-	0	0	0	8.	-	-	-	-
9	9.	-	-	-	0	9.	-	-	-	-
OUT1ランプ	9	9	9	9	9					
OUT2ランプ	0	0	0	0	0					

事前にユーザー様の仕様を聞いている場合は、その設定に合わせておりますが、通常は表1の設定値(初期設定値)となっております。

注意 この初期化(①初期設定値)は **ENT** キーを押しながら電源を入れますと設定できます。(高、出荷時はこの初期化は済ませています。)

又、ノイズ等で内部のコンピュータが暴走した時も、この方法で初期化を行い、その後に希望の設定値に合わせて下さい。

10) 設定メニュー



11 用語説明

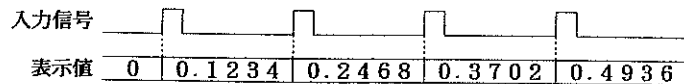
1. 【換算器】 プリスケーラ

入力信号 (パルス又はアナログ) を1~9999倍 (K) させる (入力倍率器)
すなわち、プリスケーラの意味です。

2. 【EXP】 指数 (イクスポネンシャル)

EXPとは、換算器に対するマイナス指数 (-N乗) の意味です。

(例えば) 入力 **1パルス** 毎に **0.1234** と表示させたい場合



設定は 入力1パルス.....0.1234と表示する場合
0.7693は.....1234×10⁻¹です

換算器設定は.....1234
EXP (指数) 設定は..... 4

3. 【単位表示の設定】 EXPで設定可

1パルス当たりの値 (0.1234) が mm や ml で、これを m や l で表示させたい場合

0.1234mm ÷ 1000 = 0.0001234m となります。

すなわち 1234 × 10⁻⁷

設定は EXP (指数) を -7 乗にするだけです。

各モード 換算器 EXP

各モード 1 2 3 4 7 となります。

4. 【分周器】 入力信号の減数値

入力3パルスで表示1UP/DOWNさせたい時、1÷3 = 0.33333333で永久に割り切れなく、換算器では4桁しか無く4桁以上の分は誤差として蓄積してしまいます。その様な時に有効です。

(例えば) 入力3パルス毎に表示1UPさせる場合

分周器で "3" と設定すると、入力パルスを1/3に間引きます。

設定は 分周器 換算器 EXP
003 **0001** **0** と設定して下さい。

12 モードNoの設定値の説明

モードNo	計測モード, 表示モード, 小数点										
0	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>0.</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </table> <p>計測モード</p> <ul style="list-style-type: none"> 0... 通過時間 1... 速度計測 2... サイクルタイマー 3... ストップウォッチA (ホールド) 4... ストップウォッチB (禁止) 5... 通過/秒速度 ← この時の速度は秒単位のみです。 <p>(注) ENT キーを押している間、又は5秒間速度を表示して通過時間に戻る。</p> <p>時間計測表示モード</p> <ul style="list-style-type: none"> 0... 時:分 1... 分:秒 2... 時 3... 分 4... 秒 <p>時間計測表示小数点</p> <ul style="list-style-type: none"> 0... 0 1... 0.0 2... 0.00 3... 0.000 <p>(時間計測表示モード2~4の時有効)</p>	A	B	C	D	E	0.	0	1	0	
A	B	C	D	E							
0.	0	1	0								

モードNo	換算器										
1	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>1.</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table> <p>ピッチ/パルス</p> <p>0001~9999mm 0000は設定しないで下さい。</p>	A	B	C	D	E	1.	1	0	0	0
A	B	C	D	E							
1.	1	0	0	0							

モードNo	EXP値										
2	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(※ mm単位換算でEXP値を設定して下さい)</p> <p>EXP値 0~9 (×10⁰~10⁹の指数部分を入力します)</p>	A	B	C	D	E	2.	3			
A	B	C	D	E							
2.	3										

モードNo	炉長 (タクトピッチ)										
3	<table border="1"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>E</td></tr> <tr><td>3.</td><td>0</td><td>1.</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table> <p>→ 4桁数値 (小数点位置は固定) 00.01~99.99m</p>	A	B	C	D	E	3.	0	1.	0	0
A	B	C	D	E							
3.	0	1.	0	0							

モードNo	サンプリング時間 (通過時間計・速度計測)										
4	<table border="1"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>E</td></tr> <tr><td>4.</td><td>0</td><td>2.</td><td>0</td><td></td></tr> </table> <p>→ 3桁数値 (小数点位置は固定) 00.1~99.9秒 00.0は100秒</p>	A	B	C	D	E	4.	0	2.	0	
A	B	C	D	E							
4.	0	2.	0								

モードNo	速度単位, 小数点, オートゼロ										
5	<table border="1"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>E</td></tr> <tr><td>5.</td><td>2</td><td>0</td><td>2</td><td></td></tr> </table> <p>→ 速度計測単位 (通過時間計測は“2”を選択して下さい) 0...毎時 1...毎分 2...毎秒</p> <p>→ 速度計測小数点 0... 0 1... 0.0 2... 0.00 3... 0.000</p> <p>→ オートゼロ (通過時間も関係あり) 0... 0.5秒 1... 1秒 2... 2秒 3... 4秒 4... 6秒 5... 10秒 6... 30秒 7... 60秒 8... 120秒 9... 240秒</p>	A	B	C	D	E	5.	2	0	2	
A	B	C	D	E							
5.	2	0	2								

モードNo	アナログ出力方式										
6	<table border="1"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>E</td></tr> <tr><td>6.</td><td></td><td>0</td><td>0</td><td></td></tr> </table> <p>→ 出力レンジ 0...0~10V 1...0~5V 2...0~1V 3...1~5V 4...4~20mA</p> <p>→ アナログシフト 0...右4桁と比較出力 1...左4桁と比較出力</p>	A	B	C	D	E	6.		0	0	
A	B	C	D	E							
6.		0	0								

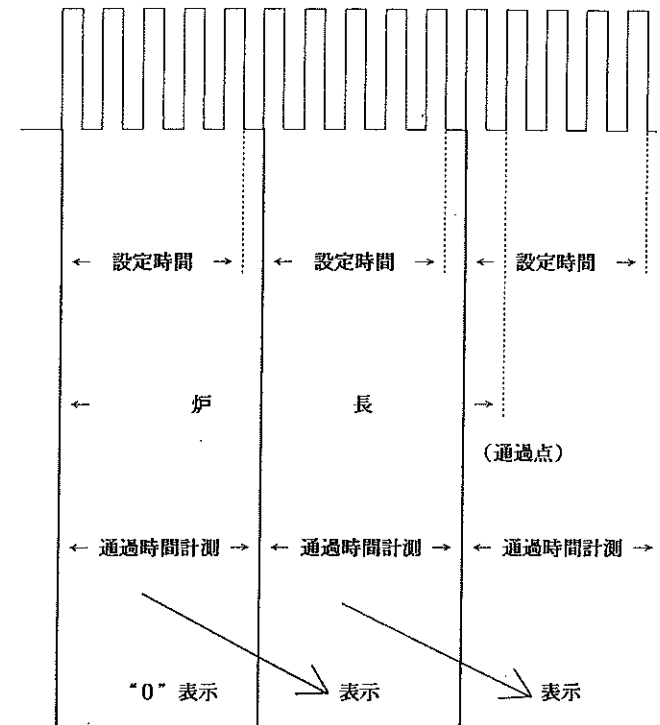
モードNo	アナログMAX出力時の表示値										
7	<table border="1"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>E</td></tr> <tr><td>7.</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table> <p>→ 4桁数値 0001~9999を入力して下さい。 0000は設定しないで下さい。</p>	A	B	C	D	E	7.	1	0	0	0
A	B	C	D	E							
7.	1	0	0	0							

モードNo	リレー出力方式										
8	<table border="1"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>E</td></tr> <tr><td>8.</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td></td></tr> </table> <p>→ 上下限設定 0...上限、下限 1...上限、上限 2...下限、下限 3...上限、下限 (即、出力)</p> <p>→ OUT1の動作モード 0...比較出力 5...1ショット 100ms 1...保持 6...1ショット 250ms 2...1ショット 30ms 7...1ショット 500ms 3...1ショット 50ms 8...1ショット 1sec 4...1ショット 75ms 9...1ショット 2sec</p> <p>→ OUT2の動作モード 0...比較出力 5...1ショット 100ms 1...保持 6...1ショット 250ms 2...1ショット 30ms 7...1ショット 500ms 3...1ショット 50ms 8...1ショット 250ms 4...1ショット 75ms 9...1ショット 500ms</p>	A	B	C	D	E	8.	0	0	0	
A	B	C	D	E							
8.	0	0	0								

13 計測タイムチャート

1. 通過時間モード

Aセンサー

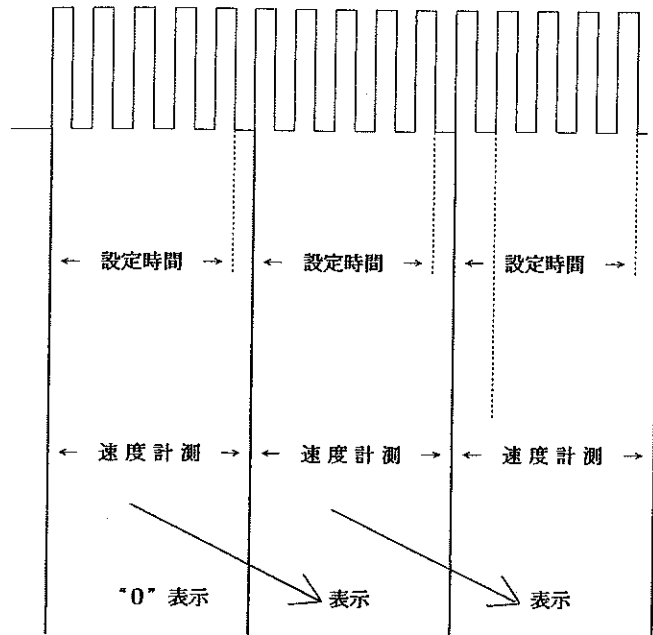


モードNo	オプション機能: BCD出力										
9	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9.</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>出力論理</p> <ul style="list-style-type: none"> 0・・・データ(正)、TI(正) 1・・・データ(負)、TI(正) 2・・・データ(正)、TI(負) 3・・・データ(負)、TI(負) 	A	B	C	D	E	9.				0
A	B	C	D	E							
9.				0							

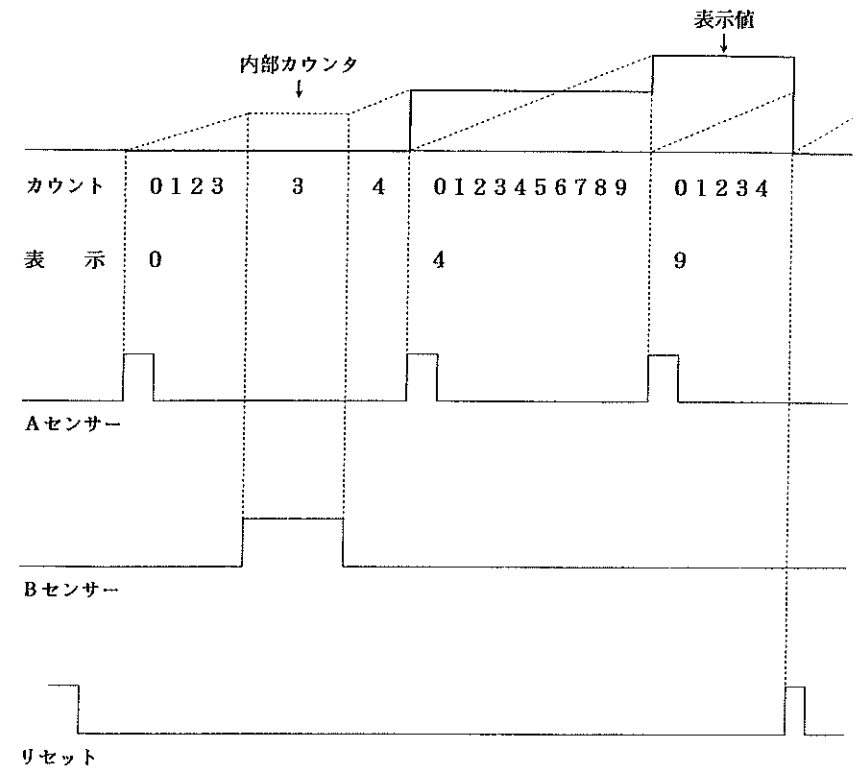
モードNo	オプション機能: RS-232C										
9	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9.</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>データビット数</p> <ul style="list-style-type: none"> 0・・・7ビット 1・・・8ビット <p>ストップビット数</p> <ul style="list-style-type: none"> 0・・・1ビット 1・・・1.5ビット 2・・・2ビット <p>パリティビット</p> <ul style="list-style-type: none"> 0・・・無し 1・・・奇数 2・・・偶数 <p>(注) データ出力タイミングは下記3種類となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①表示サンプリングに従う ②オートゼロ時 ③リセット時 	A	B	C	D	E	9.	0	0	0	0
A	B	C	D	E							
9.	0	0	0	0							

2. 速度時間モード

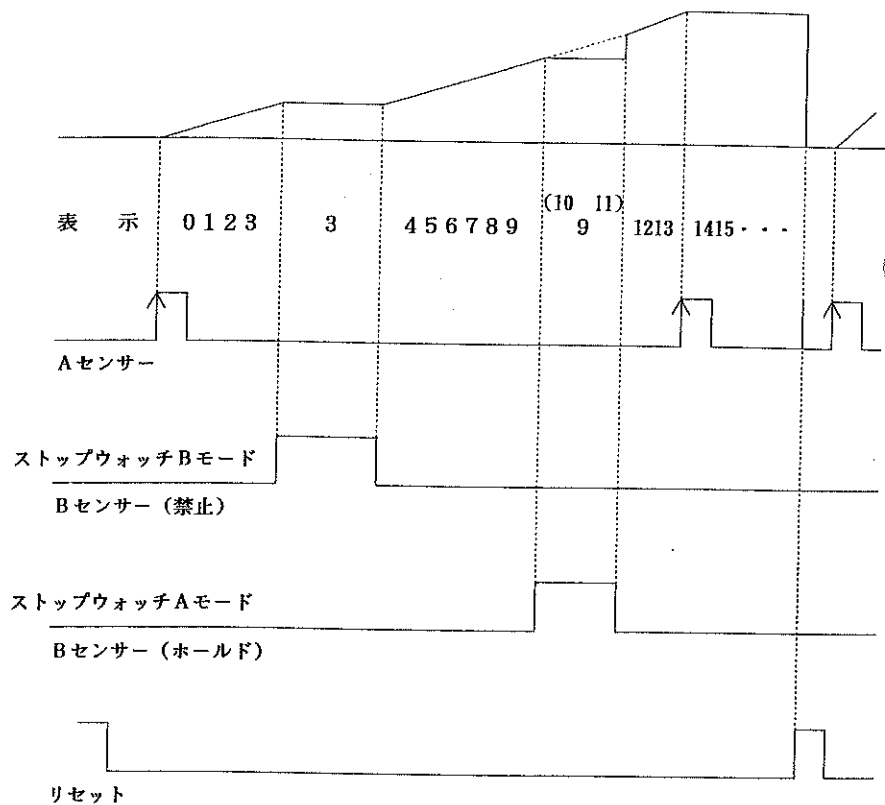
Aセンサー



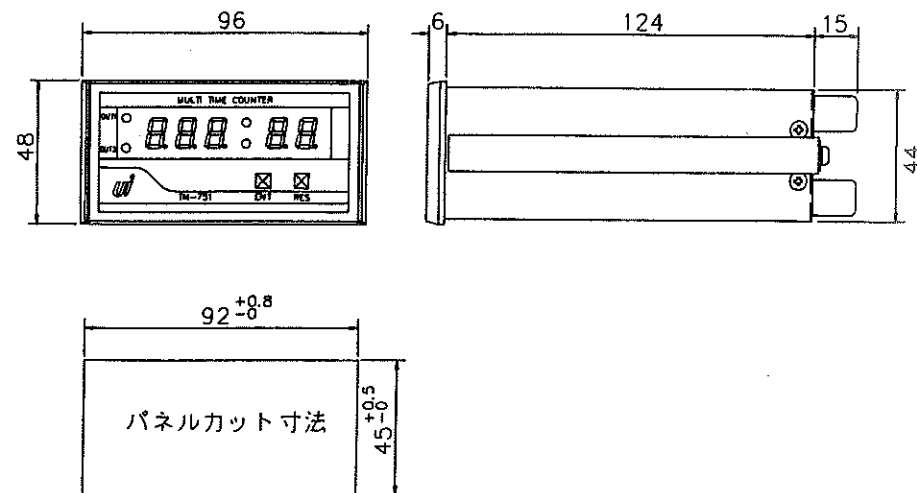
3. サイクルタイマーモード



4. ストップウォッチモード

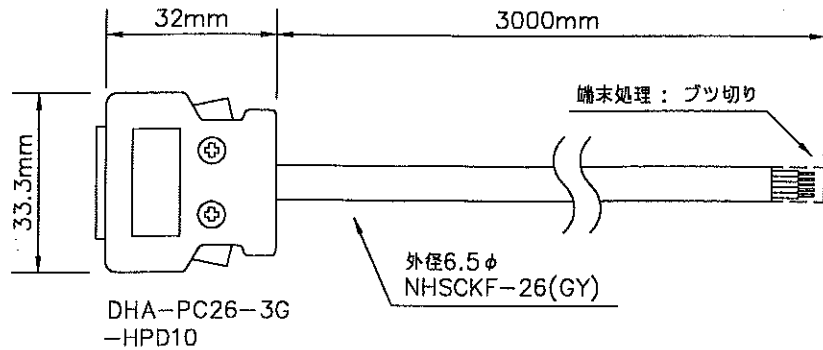


14 外形寸法図



■ 付属コネクタ (CN-173)

《SP-571 - CU-630 - TM-751共通》

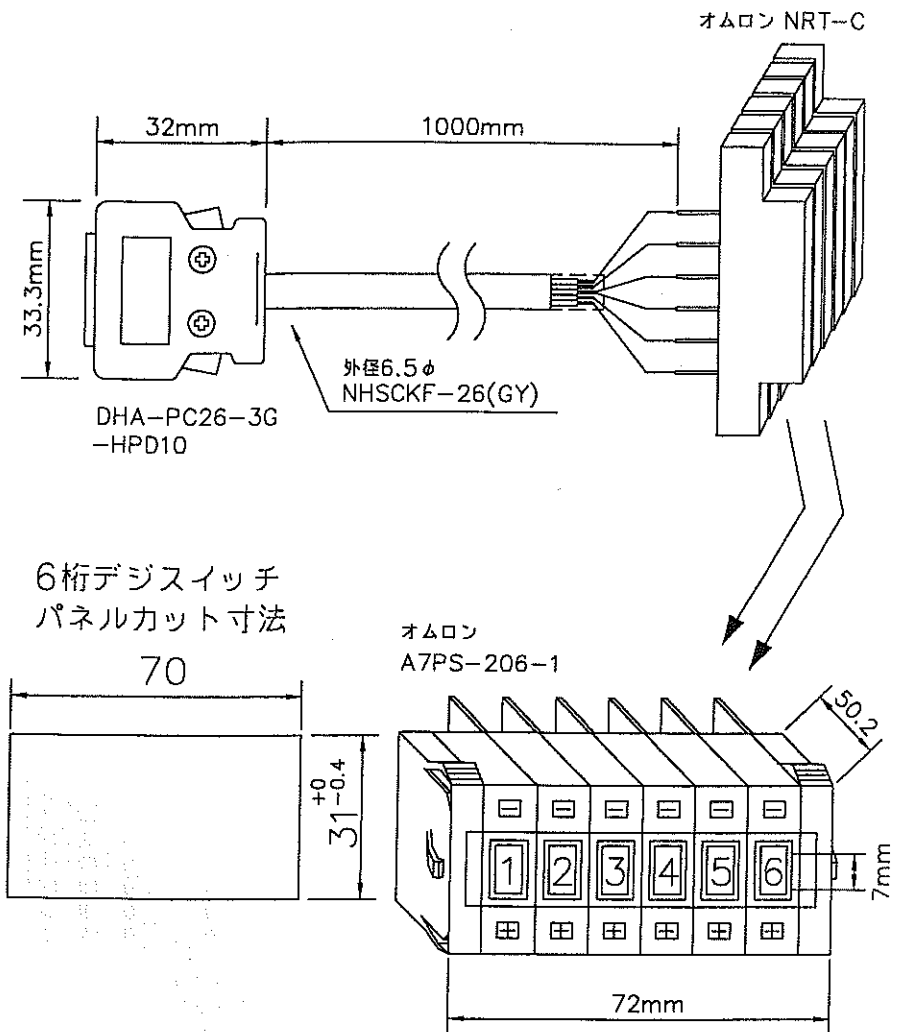


BCD出力信号とリード色

ピンNo	色別	ピンNo	色別
1	青	14	緑(白1)
2	橙	15	茶(白1)
3	緑	16	灰(白1)
4	茶	17	赤(白1)
5	灰	18	黒(白1)
6	赤	19	黄(黒1)
7	黒	20	桃(黒1)
8	黄	21	紫(白1)
9	桃	22	白(青1)
10	紫	23	青(赤2)
11	白	24	橙(白2)
12	青(赤1)	25	緑(白2)
13	橙(白1)	26	茶(白2)

■ オプション入力スイッチ (CN-263)

《SP-571 - CU-630 - TM-751共通》



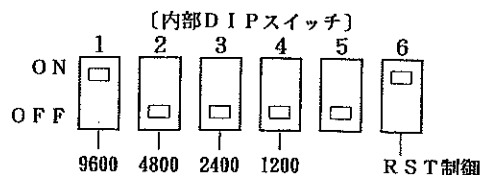
■ RS-232C仕様

《SP-571 - CU-630 - TM-751共通》

(RS-232Cについて)

1) ボーレート

ディップSWにて設定する。
 1200 BPS
 2400 "
 4800 "
 9600 "



2) ストップビット

モード設定を参照“モード11”
 1, 1.5, 2ビット

(注) 1. 指定無き場合、出荷時9600BPS
 2. ホスト側にてRST制御する場合のみ
 6番SWはOFF側にして下さい。
 本体CS有効。
 3. SP-571及びTM-751はマイ
 ナス表示はありません。

3) データビット

モード設定を参照“モード11”
 7, 8ビット

4) パリティビット

モード設定を参照“モード11”
 無し・奇数・偶数

5) 出力フォーマット

		表 示						
小 数 点 無 し							0	
						-	0	
					1	2	3	
					-	1	2	3
		9	9	9	9	9	9	9
	-	9	9	9	9	9	9	
		0	0	0	5	0	0	
小 数 点 付 き							0.0	
						-	0.0	
					1	2	3.0	
					-	1	2	3.0
		9	9	9	9	9	9	9
		-	9	9	9	9	9	9
			0	0	0	5	0.0	
		-	0	0	0	5	0.0	

		送 信 デ ー タ							
+	SP	SP	SP	SP	SP	0	CR	LF	
-	SP	SP	SP	SP	SP	0	CR	LF	
+	SP	SP	SP	1	2	3	CR	LF	
-	SP	SP	SP	1	2	3	CR	LF	
+	9	9	9	9	9	9	CR	LF	
-	9	9	9	9	9	9	CR	LF	
+	0	0	0	5	0	0	CR	LF	
+	SP	SP	SP	SP	0	.	0	CR	LF
-	SP	SP	SP	SP	0	.	0	CR	LF
+	SP	SP	1	2	3	.	0	CR	LF
-	SP	SP	1	2	3	.	0	CR	LF
+	9	9	9	9	9	.	9	CR	LF
-	9	9	9	9	9	.	9	CR	LF
+	0	0	0	5	0	.	0	CR	LF
-	0	0	0	5	0	.	0	CR	LF

SP=20h
 CR=0Dh
 LF=0Ah

※小数点の有無により、出力フォーマット長が変わります。

6) パソコンとの接続

パソコン側
 D-SUB (25P) オス

